
令和2年度観光地域動向調査事業
愛媛県南予地域における欧米豪向け観光資源調査事業
業務報告書



八幡神社（八幡浜市）／祝詞書写体験

令和3年3月

1. 事業の概要

1-1 事業名

令和2年度観光地域動向調査事業

愛媛県南予地域における欧米豪向け観光資源調査事業

1-2 事業目的

四国の西南地域である愛媛県南予地区を訪れている訪日外国人旅行者は、四国全体の3%程度にすぎず、訪日外国人旅行者がもたらす地域への経済効果は他地域に比べ格段に少ない。しかしながら、同地域には日本の原風景が多く残り、内子座、臥龍山荘、宇和島城等の歴史・文化的な観光資源も多く、柑橘やさつま汁、鯛飯等の地域独自の食文化を持ち、訪日外国人旅行者の志向に合う高いポテンシャルを持っている。

近年では、八幡浜市、大洲市において観光地域づくり法人(DMO)が形成され、訪日外国人旅行者の誘客に積極的な取り組みを行っており、隣接する内子町、西予市、宇和島市を含め徐々に気運が高まりつつある。

そういった中で、上記5地域において、地域の枠組みを越えて連携し、欧米豪の訪日外国人旅行者をターゲットとして誘客に取り組む動きも生まれており、この機会を好機ととらえ、同地域の取り組みの後押しを行い、地域の魅力を高めることにより訪日外国人旅行者の南予地区への周遊を図ることを目的とする。

上記5地域の観光資源を調査し、欧米豪の志向に合うよう、磨き上げに必要な材料を提供する。

1-3 事業内容

(1) 掘り起こし・絞り込み検討会の開催

令和2年9月25日(金)、八幡浜市にて「掘り起こし・絞り込み検討会」を開催した。南予5地域の観光協会等が出席し、各地域の現状や課題の情報共有、モニターツアー行程及び調査項目の洗い出しを行った。

(2) モニターツアーの実施

令和2年11月8日(日)～11月10日(火)の日程で、欧米豪出身のモニター3名を招聘し、内子町、大洲市、八幡浜市、西予市、宇和島市のコンテンツを体験するモニターツアーを実施した。

なお、新型コロナウイルスの状況を鑑み、モニターは四国内に在住する欧米豪出身者を対象とし、アメリカ人1名、カナダ人1名、オーストラリア人1名の計3名を招聘した。

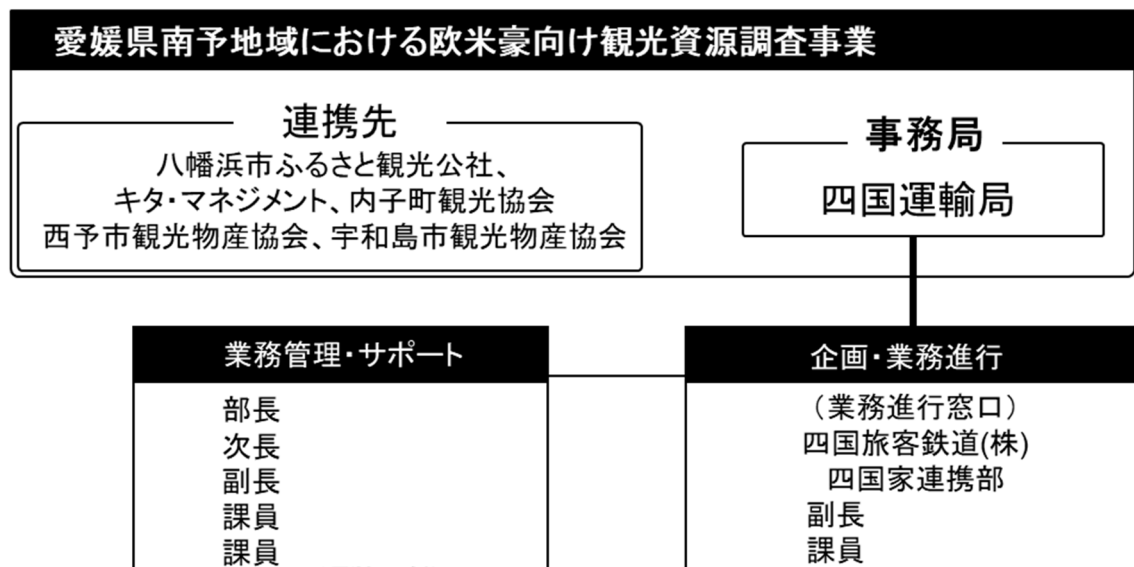
(3) 磨き上げ検討会の開催

令和3年2月5日(金)、WEB会議にて「磨き上げ検討会」を開催した。モニターツアーのアンケート結果より20の論点・課題を抽出したうえで、さらなるコンテンツ磨き上げに資するテーマについて意見交換を行った。

1-4 スケジュール

	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
(1) ヒアリングの実施		→							
(2) 掘り起こし・絞り込み 検討会の開催			●						
(3) モニターツアーの実施					●				
(4) アンケート結果の集約					→				
(5) 磨き上げ検討会の開催								●	
(6) 報告書の作成								→	

1-5 実施体制図



2. 業務内容

2-1 掘り起こし・絞り込み検討会の開催

(1) 事前ヒアリングの実施

- ・ 事前に地域にヒアリングを行い、各地域が有している観光素材を選出し、欧米豪訪日外国人旅行者志向のコンテンツを調査するとともに広域周遊につながるモニターツアー行程案を作成した。

■素材の選出・調査

内子町		
1	石畳むら並み	「美しい日本のむら景観百選」にも選ばれ、あるがままの暮らしの風景を堪能。
2	明治の町並み	八日市護国重要伝統的建造物群保存地区を散策。
3	小田巨樹の里	小田深山のふもと、参川地区には樹齢1000～1200年以上と推定される巨木を祀る。
4	七色の溪谷	内子町の東の端にある小田深山では手つかずの自然が残る溪谷美を堪能。
5	古民家ステイ	内子の町並み・村並みに並ぶ古民家に宿泊、風景の中に入り込む。
6	内子フレッシュパークからり	内子町の新鮮な野菜・果物が毎日入荷される産直はもちろん、地元食材を使ったジェラート、パン、もち麦うどん、ハンバーガー等を販売。吊り橋を渡った川辺での水遊びも楽しめる。
7	内子町食べ歩き	内子豚の朝露鍋、小田名物たらいうどん、石畳の手打ち蕎麦等、ここでしか食べられない「内子町グルメ」の宝庫。
8	凧づくり体験	内子町五十崎地区は伝統的に和紙生産が盛んな地域。和紙を利用した凧づくりも盛んで、毎年5月5日は「いかざき大凧合戦」という400年の歴史があるイベントも開催される。
大洲市		
9	城下町散策	歴史情緒あふれる大洲の城下町やおおず華回廊を散策(大洲城、臥龍山荘、如法寺等)。
10	大洲のうかい	岐阜の長良川、日田の三隈川とともに「日本三大鶴飼い」として有名な「大洲のうかい」。鶴匠船と客船の屋形船が併走しながら川を下るという国内唯一の「合わせ鶴飼い」といわれる手法が特徴。
11	長浜散策	長浜大橋は通称「赤橋」と呼ばれ、現存する中で稼動するバスキュール(跳ね上げ)式道路可動橋としては、日本最古。
12	浪漫八橋	御幸の橋、三嶋橋、豊年橋、常江橋、龍神橋等の「浪漫八橋」を散策。
13	風の博物館	風のまちとして知られる肱川地区にあるユニークなミュージアム。自然エネルギーである風を町の特徴としてとらえて、風を糸口に技術や人材、情報を集積。
14	城下町ステイ	城主の気分で大洲を楽しむ体験が可能。また、城泊である大洲城キャッスルステイのみならず、同時期に城下町の歴史的な邸宅をリノベートした分散型ブティックホテル、大洲城下町ホテルも人気。
15	いもたき	肱川の河原にゴザを敷いて鍋を囲み、肱川の水が運んできたよく肥えた土で育った大洲の夏芋を味わう。藩政時代から続くといわれる、大洲ならではの秋の風物詩。
16	しぐれ	約200年前、大洲藩主江戸家中の秘宝菓子として今日に伝え及んだものといわれる。大洲の名物。

八幡浜市		
17	八幡神社	1300年の歴史ある場所での神社体験(清掃、絵馬づくり等)
18	歴史を巡る峠道	四国遍路や参勤交代の歴史を巡る峠道を散策
19	段々畑を「E-BIKE」	段々畑が織りなす光景を存分に楽しむ「E-BIKE」によるサイクリング
20	里山文化体験	山あいの集落(日土東地区)の暮らしに触れながら地元の食材を使った田舎料理づくりを体験
21	八幡浜みなと	地域の素材を活かした産直・物販・飲食施設「アゴラマルシェ」、八幡浜漁港に水揚げされた新鮮な魚を直売する「ドーや市場」、「みなと交流館」などで構成された、まちの新たなシンボル。
22	日土小学校	八幡浜市職員であった松村正恒氏が、本校を含む学校や病院等の設計を手がける。本校中校舎・東校舎が2012年に戦後の木造建築としては初めて国の重要文化財に指定された。学校の長期休暇中には見学会も実施。
23	八幡浜ちゃんぽん	長崎・神戸・横浜をはじめとした全国各地のみなとまちにみられるように、本場中国の食文化が海を渡って伝わり、地元の食文化との融合の中で生まれたと言われる。
24	平家谷そうめん流し	溪流と原生林の美しさを持つ平家谷は、春には、桜やツツジ、アジサイの花が咲き、初夏には萌黄色の新緑が目まぶしく、秋には紅葉が美しく映え、冬には水仙と梅の花が咲きそろう。大自然の中でのそうめん流しは格別。

西予市		
25	西予ジオパーク	海拔0mから1,400mの標高差の中に、リアス式海岸・盆地・河成段丘・カルスト台地などの多様な地形が存在。国の重要文化的景観に選定された西予市・狩浜地区など、多様な自然環境に触れながら、海・里・山の多様な文化・食・暮らしを楽しむことができる。
26	卯之町散策	江戸時代中期から昭和初期の商家を残し、国の重要伝統的建造物群保存地区に選定。白壁、うだつ、格子などの伝統的な建築様式が残り、古き良き文化の香りと商業に賑わいを感じることができる。
27	笠置峠古墳	4世紀初め頃に築造されたと考えられる西南四国最古の前方後円墳。宇和盆地一帯を治めた首長の墓。笠置峠古墳は「しゃもじ形」とでも言うべき形をしている。
28	田穂の堂の坂の棚田	「日本の棚田100選」、「にほんの里100選」に選ばれた、田穂の堂の坂の棚田。山間に広がる棚田が美しく、棚田に吹く風を受けながら美しい田穂の堂の坂の棚田を眺め続けていると、ゆるやかな時間が流れているのを感じることができる。
29	わらマンモス	春には市花のれんげと。夏には稲が育った緑の田んぼと。秋には稲刈りをした田んぼと。冬にはわらぐろとライトアップ。四季折々のわらマンモスを見ることができる。毎年、4月29日のれんげまつりの時期にはたくさんの方で賑わい今では宇和町のシンボリック存在。
30	ぞうきんがけレース	日本一長い木造校舎の109m廊下をぞうきんがけレースで、タイムトライアル。目指せ最速タイム。
31	養蚕体験	「シルクとミルクの町」。西予市が合併する前の野村町のキャッチフレーズ江戸末期、技師を招き養蚕を推奨した。明治時代に入ると野村町でも養蚕が始まる。
32	宿場町ステイ	古くからの宿場町として栄えた時代の名士や遍路巡礼の宿に宿泊。受け継がれた歴史と伝統を体感。

宇和島市		
33	宇和島藩・伊達文化	宇和島城や天赦園を巡りながら、宇和島藩・伊達文化や歴史に触れる。
34	和霊神社	漁業を中心に広く産業の神として、中四国で崇められている和霊信仰。その総本山といえるのが、和霊神社。
35	滑床溪谷	足摺宇和海国立公園の一角で、滑らかな一枚岩の千畳敷や、平らな岩の上をさらさらと滑るように水が流れる出合滑など、溪谷全体の岩盤が清流で洗い清められ、柔らかな滑らかさを持っている。四万十川水系の支流でもある。
36	遊子水荷浦の段畑	「耕して天に至る」と形容される段々畑。眼前に広がる宇和海の美しさもあいまってまさに絶景。「日本農村百景」などに選ばれており、全国で3例目の「国の重要文化的景観」に選定された。
37	郷土料理「鯛めし」	「宇和島鯛めし」は水軍が考案したとされる、いわゆる「漁師めし」。
38	宇和島の闘牛	闘牛の起源については、17世紀といわれる。迫力満点の闘いが繰り広げられる。
39	木屋旅館	上品で洗練されたアートエンターテインメント空間というアプローチの旅館。心地の良い「ほったらかし感」の中で、滞在中飽きさせない工夫を凝らしたしつらえを随所に施している。
40	真珠体験	リアス式海岸による深い入り江に、波静かにさざめく宇和海。日本有数の真珠の産地で、自分だけのオリジナル真珠の加工体験。

■提示した行程案

1日目

---JR ===バス ...徒歩

行程	食事
各地----内子====石畳地区散策====そば処石畳むら（昼食）==== 10:00集合	朝× 昼○
大洲市内観光（臥竜山荘、大洲城）・・・大洲市内泊 14:00 18:00	夜○

テーマ① 村並みが美しい理由とは？

内子町の中心部から約13km、麓川の源流域にある石畳地区。「美しい日本のむら景観百選」にも選ばれ、あるがままの暮らしの風景や自然はここを訪れる多くの人々に感動を与えています。石畳の村並みの美しさのヒミツを紐解きます。



内子町石畳地区「美しい日本のむら景観百選」 （昼食）石畳産のそば粉を使用したそば

テーマ② なぜ大洲城は伝統と気品を感じさせる正しい復元をされたのか？



2004年に復元された大洲城

2004年、四層四階の木造天守が威風堂々とした往年の姿で甦りました。誰が大洲城天守を築城したのか？なぜ伝統と気品を感じさせる正しい姿に復元できたのか？大洲城の謎を解き明かします。

2日目

---JR ===バス ...徒歩

行 程	食事
宿====八幡神社（雅楽、装束着付体験）====伊井旅館（昼食） 8:00 9:00 ~ 12:00 13:00	朝○ 昼○
===狩浜の段畑・・・佐藤真珠====西予市内（泊） 17:00	夜○

テーマ③ 世界最古のオーケストラ（雅楽）体験



1300年の歴史ある神社で雅楽

西暦717年に創建され、「八幡浜」（やわたはま）の地名の由来になった神社「八幡神社」（はちまんじんじゃ）では、世界最古のオーケストラ「雅楽」の演奏や専用の装束の着付けを体験します。

テーマ④ 宇和海の絶景と地質の関係とは？

2019年、国の重要文化的景観に選定された西予市明浜町・狩浜地区。高台からは段々畑とリアス海岸が織りなす絶景を堪能できます。

海と山の距離が近く、狭い限られた土地でありながら、様々な産業が発達してきました。宇和海の絶景と地質の関係の秘密に迫ります。



狩浜の段畑と漁村（国の重要文化的景観）



真珠工場見学

3日目

---JR ===バス ...徒歩

行 程	食事
宿====宇和島城・・・天赦園（昼食）・・・伊達博物館==== 9:00 10:00 12:00	朝○ 昼○ 夜×
道の駅「みなとオアシスうわじま」====JR宇和島駅 15:00解散	

テーマ⑤ なぜ、十万石の小さな宇和島藩が幕末の政局に多大な影響を与えたのか？

宇和島市は仙台藩・伊達政宗の長子、秀宗が宇和郡十万石を拝領し、明治に至るまで9代の藩主と共に産業教育・文化振興が図られ、発展してきました。この小さな宇和島藩が幕末に果たした役割とは？政局に多大な影響を与えることができたのか、その背景に迫ります。



宇和島城

築城の名手・藤堂高虎によって築かれたお城。現在、周囲は埋め立てられていますが、以前は水路に囲まれ、海に面した水域でした。「十万石に過ぎた門」と言われ、太平洋戦争時代、空襲で焼失した追手門跡から登城し、宇和島の歴史を学びます。



宇和島郷土料理「鯛めし」

「宇和島鯛めし」は、水軍が考えたといわれる、いわゆる漁師めし。舟の上で刺身と茶碗酒で酒盛りをした後、その酒の残った茶碗にご飯をよそい、醤油を含ませた刺身をのせ、混ぜ合わせて食べたのが始まりとされています。

■市町からの意見

① 内子町

- ・ まちなかのガイドに石畳ガイドを勉強させるか、キタ・マネジメント所属の外国人にガイドを依頼するか、検討する。
- ・ 昼食のそばのアレルギーがないか確認して欲しい。
- ・ 内子町のコロナ以前の訪日外国人は、韓国人が大半。その他、アジアは中国が多く、欧米は姉妹都市を結んでいるドイツや米国が多い。

② 大洲市

- ・ 行程案をベースに、サイクリングプランにアレンジして提案する。
- ・ NIPPONIA の顧客層は 50 代主婦または家族のアップーミドル層。9 割が日本人。

③ 八幡浜市

- ・ 八幡神社については担い手と日程調整が必要。雅楽は楽器に口をつけるので、コロナ禍の今回はカットして神社体験（清掃、絵馬等）のみにした方が良い。通常の 1 日プランは 1.5 万円だが、日程が決まり次第、体験内容に合わせて再計算可能。
- ・ 2 月に愛媛大学の留学生に体験してもらったが、東南アジアやアフリカの方は神社体験に対して宗教的に抵抗を示す人が多かった。
- ・ 八幡浜市のインバウンドは、（農業研修等の実習生を除くと）欧米豪が多い。ただし、駅から港に乗り換えるだけで通過している人も多い。

④ 西予市

- ・ モニターツアー内容についてはジオパーク推進室に確認する。
- ・ 西予市内の宿泊場所はビジネスホテルが多く、松屋旅館も現在は閉館中で対応が難しい可能性がある。

⑤ 宇和島市

- ・ 復元された大洲城を見た後、400 年前に建てられた現存 12 天守の一つである宇和島城を見て、石垣や建物の構造、地形等を比べるというのはいいか。
- ・ 12 天守だけではなく、山城のようなところも人気が出てきている。
- ・ クルーズ船の観光客は天赦園に行く方が多い。甲冑や、さんさ踊りを体験してほしい。たまに伊達博物館に行く方もいる。
- ・ モニターツアー行程素案にみかんが無いのは気になる。ただし、欧米豪インバウンドはフルーツピッキングに興味を示さないのも事実。
- ・ （クールジャパンアンバサダーを務める）外国人が管理している、木屋旅館での宿泊はいいか。
- ・ インバウンド市場において、四国単体で売っていくのには限界がある。例えば飛騨のようなところと、どうセット売りできるかだ。
- ・ 最後に予土線の一部に乗せるか、宇和島駅横にある扇形車庫に立ち寄ってはどうか。

(2) アンケートの作成

- ・ モニターツアーを実施するにあたり、外国人目線から現状把握と課題の見える化を行うためにアンケートを作成した。作成にあたっては、モニターから累次にわたり、メール等で多くの助言を得た。

■アンケート案

アンケート項目案(モニターツアー)

モニターツアー参加者に対して、四国家のお宝素材等のアンケートを実施します。
＜観光施設、宿泊施設、食事施設＞

1. 概要

- ・項目ごとに「整備状況」、「重要性」について、指数化します。(10点満点)
- ・お宝素材は、「関心度」、「理解度」について、指数化します。(10点満点)
- ・改善すべき点などについては別途、ご指摘をしていただきます。

2. 目的

- ・項目ごとにマトリックス化を行い、課題の「見える化」を行います。
- (例) 重要度は高いものの、整備状況が芳しくないもの→○○
関心は高いものの、理解度が低いお宝素材→○○○

3. アンケート項目

【お宝関係】

項目	関心度	理解度	自由記述
① お宝素材への関心・興味			
② お宝素材の認知度、知人へのオススメ度			
③ お宝のテーマへの関心・興味			

【観光施設】 主な対象箇所: 石畳、大洲城、臥竜山荘、八幡神社、鈴浜の段畑、宇和島城、天教園等

項目	整備状況	重要度	自由記述
① WiFiスポットの設置			
② 外国語対応のwebサイト			
③ 外国人対応可能な販売窓口			
④ 外国語の案内板設置			
⑤ エリア内観光施設のナンバリング等で情報発信			
⑥ コインロッカーの増設提供			
⑦ キャッシュレス決済の導入			
⑧ 形式・レイアウトの整備			

【同遊観光】

項目	整備状況	重要度	自由記述
① 各拠点からの日帰り、1泊2日のオプションツアー			
② 市街地や観光地までのシャトルバスの運行			
③ 同遊交通バスの導入			
④ 街中での案内サインやホテルスタッフの外国語対応			
⑤ 夜間プログラムを整備			
⑥ 市街地や観光地に特例運賃案内士を配置			

【宿泊施設】対象箇所: NIPPONIA(大洲市)、松尾旅館(西予市)

項目	整備状況	重要度	自由記述
① 外国語対応が可能			
② 記入書類(チェックイン)が外国語対応			
③ 利用規約等が外国語対応で全客室に設置			
④ WiFiスポットの設置			
⑤ 荷物を預けることができる(チェックイン前後)			
⑥ 禁止、迷惑行為等を外国語で周知している			
⑦ キャッシュレス決済の導入			
⑧ 日本独自の習慣・マナーの説明			
⑨ 観光地等の外国語パンフレットを設置			
⑩ 日本の文化等を体験できる			
⑪ 形式・レイアウトの整備			

【食事施設】 主な箇所: 石畳むら、あけはま一れ、天教園等

項目	整備状況	重要度	自由記述
① 外国語でのメニューの表示			
② 料理の写真とメニュー表示			
③ 飲食代金以外の料金の記載			
④ WiFiスポットの設置			
⑤ 宗教等で摂取できない食材の明示			
⑥ アレルギー食品の外国語表示			
⑦ キャッシュレス決済の導入			
⑧ 日本独自の習慣・マナーの説明			
⑨ 観光地等の外国語パンフレットを設置			
⑩ 日本の文化等を体験できる			
⑪ 形式・レイアウトの整備			

■モニターからの助言

- ・食事施設：アレルギー関係の外国語表記、宗教等で摂取できない食品の明示等
- ・体験型プログラム：持続可能性、安全性に対する配慮等
- ・重要度の把握：優先して整備すべき項目の見える化等

■各地域からの要望

○内子町観光協会

各施設、スポットごとに、アンケート項目とは別に自由記述欄（要望、クレーム等）があると、今後の参考となる。

○八幡浜市ふるさと観光公社

体験プログラムに関する質問項目を新たに設定し、次の内容を深掘りしてほしい。

- ・コンテンツの魅力
- ・オリジナリティ
- ・持続可能性
- ・安全性
- ・収益性

○西予市観光物産協会

数値での評価だけではなく、コンテンツ毎に総括的な自由記述欄を追加してほしい。

(3) 掘り起こし・絞り込み検討会の開催

- ・ 本事業の趣旨に賛同した自治体及び観光協会、地域 DMO から 8 名が参加した。

■日程

令和 2 年 9 月 25 日（金）15:00～17:00

■場所

八幡浜市役所 4 階 401 会議室

■出席者

所属	職名
四国運輸局 観光部	部長
四国運輸局 観光部観光地域振興課	課長
〃	係員
(一社) 内子町観光協会	事務局長
〃	係長
(一社) キタ・マネジメント 企画課	課長
〃 建築文化研究所	所長
(一社) 八幡浜市ふるさと観光公社	職員
西予市 まちづくり推進課ジオパーク推進室	室長
(一社) 西予市観光物産協会	事務局次長
宇和島市観光物産協会	事務局次長



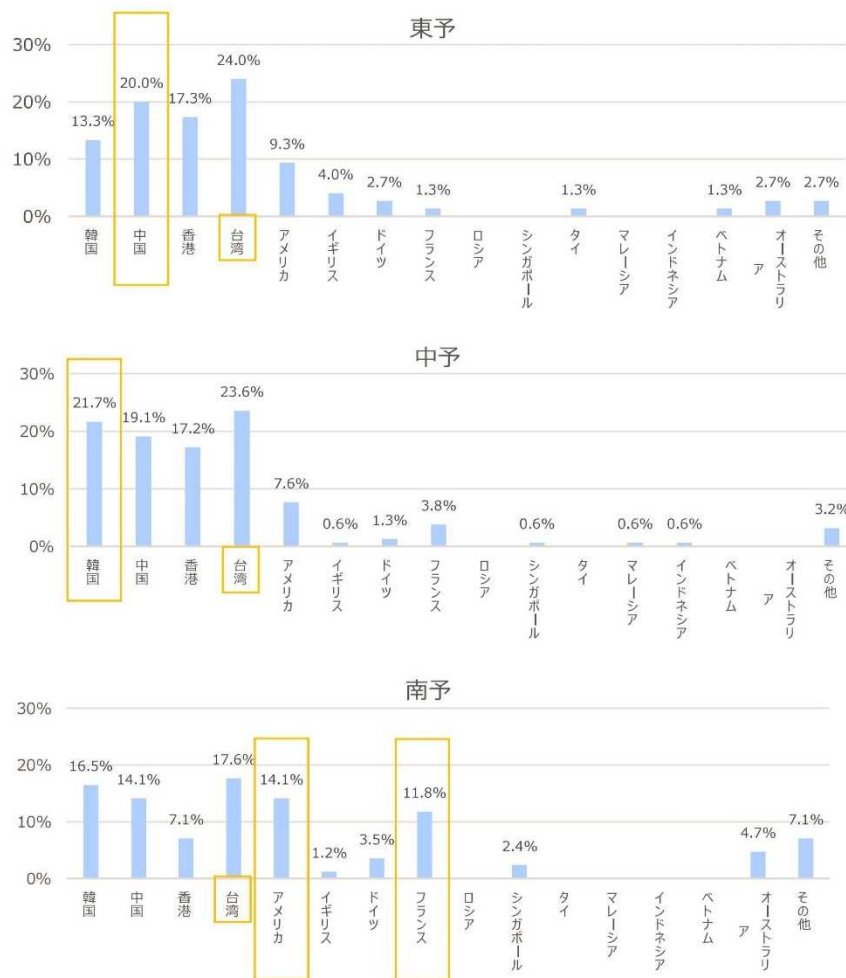
① 事前調査の共有：愛媛県におけるインバウンドの動向について

【インバウンド客の現状】

インバウンド客の属性（国・地域×形態 団体・個人を合算集計）

- ✓ 国・地域ごとに団体・個人を合算し、各国について1位～3位と回答した施設比率の合計を算出した。
- ✓ どの地域においても「台湾」に対する比率が最も高い結果になったが、東予では「中国」が次に大きく、また中予と南予では「韓国」となった。また、特に南予では「アメリカ」や「フランス」の回答比率が特に高かった。

インバウンド客の属性（国・地域×形態）（地域別）※未回答を除く全体に対する比率



- ・ インバウンド客の大半は個人客。アジア圏が最多だが、地域によっては欧米からも来ている。
- 南予地域では、アメリカやフランス国籍のインバウンド客を比較的多く受け入れており、これは南予地域特有の傾向。
- ・ 1年の内、インバウンド客が集中する時期は4～5月、10～11月の2回。
- ・ 宿泊施設とインバウンド客のニーズに一部ミスマッチがあり、観光資源やアクセ

スに関する部分に課題がある。

→「周辺観光地へのツアーやツアーガイドの手配」、「日本文化の体験」などの観光資源や、観光資源へのアクセスに関する側面でミスマッチがみられた。

【ハード面・ソフト面】

- ・ 通信環境サービスの整備は進んでいるが、キャッシュレスや SNS を活用した情報発信に課題が見られる。

→客室内やロビー等のパブリックスペースにおける Wi-Fi の整備は進んでいる。しかし、キャッシュレス対応や SNS での情報発信や口コミサイトを活用している施設の割合は低い。

【インバウンド客の受け入れに関する課題と要望】

- ・ 宿泊施設が抱えている課題としては、言語面に対するものが多く、言語面以外では災害時や医療機関紹介への対応があげられる。
- ・ 希望する支援内容として、語学面や Wi-Fi 整備に関するものが多かったが、南予地域では金融機関からのファイナンスニーズもあった。

→宿泊施設が今後期待する支援内容としては、「外国語コールセンターの設置等、語学面の支援」や「Wi-Fi 整備や多言語表示対応に向けた補助金制度」、「外国人対応可能な人材育成面での支援」が多かった。南予地域では、金融機関からのファイナンスによる支援を希望する例もあった。

＜日本政策投資銀行 愛媛県インバウンド客受入環境調査報告（2020 年 3 月）より抜粋＞

② 意見交換

- ・ 各地域から、訪日外国人旅行者の現在の状況と課題の情報共有を行った。
- ・ 各市町からヒアリングして選出した観光素材を行程案に組み込んだ理由の共有・検討とモニターツアーの実施内容を検討した。

■内子町（内子町観光協会）

【主な観光資源・コンテンツ】

番号	観光資源・コンテンツ	概要	選定理由
1	石畳むら並み	「美しい日本のむら景観百選」にも選ばれ、あるがままの暮らしの風景を堪能。	「美しい日本のむら景観百選」。あるがままの暮らしの風景や自然は「欧米豪」にも響くのか検証したい。
2	明治の町並み	八日市護国重要伝統的建造物群保存地区を散策。	江戸時代後期から明治時代にかけて木製の生産によって栄えた伝統の町並み。「欧米豪」に伝統産業の歴史がどの程度響くのか確認したい。
3	小田巨樹の里	小田深山のふもと、参川地区には樹齢1000～1200年以上と推定される巨木を祀る。	
4	七色の溪谷	内子町の東の端にある小田深山では手つかずの自然が残る溪谷美を堪能。	
5	古民家ステイ	内子の町並み・村並みに並ぶ古民家に宿泊、風景の中に入り込む。	
6	内子フレッシュパークからり	内子町の新鮮な野菜・果物が毎日入荷される産直はもちろん、地元食材を使ったジェラート、パン、もち麦うどん、ハンバーガー等を販売。吊り橋を渡った川辺での水遊びも楽しめる。	
7	内子町食べ歩き	内子豚の朝露鍋、小田名物たらいうどん、石畳の手打ち蕎麦等、ここでしか食べられない「内子町グルメ」の宝庫。	
8	凧づくり体験	内子町五十崎地区は伝統的に和紙生産が盛んな地域。和紙を利用した凧づくりも盛んで、毎年5月5日は「いかざき大凧合戦」という400年の歴史があるイベントも開催される。	

モニターツアーに盛り込む素材・コンテンツ

【特徴・傾向】

- ・ コロナ禍に入る前は、松山空港へのソウル・台北ルートが有り、道後などに入ってきた韓国・台湾客が、J R きっぷ（内子・大洲町並散策1日パスやAll Shikoku Rail Pass）を使って、日帰りで来ていた。
- ・ 観光客が来るシーズンが春・秋に集中している。コロナ禍で海外客は狙えないので、国内、特に近郊の人達をターゲットにしている。1年中来てくれるならそれに超したことはないが、シーズンで絞るのも一手だと思う。
- ・ 石畳は日本の原風景で、場所自体は良いと思う。下灘にも近く、地の利がある。

【課題】

- ・ 欧米豪の誘客はこれからの課題として当然意識していく。ただ、欧米豪というくくりはざっくりしすぎており、ペルソナ化が必要だ。客層は、富裕層・中間層・バックパッカー層に分けることができ、欧米豪富裕層が今の状態で入って来ても対応できるのか、疑問がある。今入ってきている欧米豪は、バックパッカー層だ。我々が取り組みを進めていかないといけない層は、いわゆる富裕層と、消費単価の平均層。
- ・ 一般的にインバウンドに対する観光の切り口は四つあり、一つ目が気候。二つ目が自然で、内子でいえば里山。三つ目は文化だが、日本では文化寄りになりすぎているという外国人の指摘がある。四つ目は食で、もっと特徴が立ってこないといけない。
- ・ 大洲もそうだと思うが、内子は道後の日帰り圏。これが、南予の入り口となればありがたいし、南予も盛り上がると思う。欧米豪をより深掘りし、取組が妥当かも具体的に議論したほうが良いのでは。
- ・ 石畳は日本の原風景で気候を絡めやすく、また下灘に繋げることも可能。アクティビティ（自然を補完するもの）が課題。

■大洲市（キタ・マネジメント）

【主な観光資源・コンテンツ】

番号	観光資源・コンテンツ	概要	選定理由
9	城下町散策	歴史情緒あふれる大洲の城下町やおおず華回廊を散策（大洲城、臥龍山荘、如法寺等）。	築城の秘話や復元経緯、往年の姿に甦った「大洲城」の魅力への理解、サイクリングでの観光魅力度等を検証したい。
10	大洲のうかい	岐阜の長良川、日田の三隈川とともに「日本三大鵜飼い」として有名な「大洲のうかい」。鵜匠船と客船の屋形船が併走しながら川を下るという国内唯一の「合わせ鵜飼い」といわれる手法が特徴。	
11	長浜散策	長浜大橋は通称「赤橋」と呼ばれ、現存する中で稼動するバスキュール（跳ね上げ）式道路可動橋としては、日本最古。	
12	浪漫八橋	御幸の橋、三嶋橋、豊年橋、帯江橋、龍神橋等の「浪漫八橋」を散策。	
13	風の博物館	風のまちとして知られる肱川地区にあるユニークなミュージアム。自然エネルギーである風を町の特徴としてとらえて、風を糸口に技術や人材、情報を集積。	
14	城下町ステイ	城主の気分で大洲を楽しむ作体験が可能。また、城泊である大洲城キャッスルステイのみならず、同時期に城下町の歴史的な邸宅をリノベートした分散型ブティックホテル、大洲城下町ホテルも人気。	城主の気分で城下町ホテルでの滞在、宿泊への関心、魅力度等を調査したい。
15	いもたき	肱川の河原にゴザを敷いて鍋を囲み、肱川の水が運んできたよく肥えた土で育った大洲の夏芋を味わう。藩政時代から続くといわれる、大洲ならではの秋の風物詩。	
16	しぐれ	約200年前、大洲藩主江戸家中の秘宝菓子として今日に伝え及んだものといわれる。 大洲の名物。	

モニターツアーに盛り込む素材・コンテンツ

【特徴・傾向】

- ・ 南予が集まるのは大変良い。特に南予が集まると、欧米豪を狙うPRがしやすい。一つのまちだけでは力が足りない。
- ・ コロナによる松山（道後圏）への観光客の減少率と同じく、大洲も約6割減少した。外国人旅行者はほぼ0となった。
- ・ 2018年度、1.1万人、2019年度、1.3～1.4万人の外国人が来訪した。このうち7%が欧米系、それ以外は韓国・台湾・中国だった。2018年の宿泊割合は10%未満（1,000人超）。
- ・ エデュケーショナルトリッパーを狙っている。
- ・ 欧米豪を狙いつつ、足下観光に注力していきたい。豪は一番早く再開するのではないかとみている。
- ・ 外国人向けサイト「Visit Ozu」を立ち上げ、WEBマーケティングを進めている。
- ・ キャッスルステイ（城泊）は海外に向けてWEBメディア等でPRを進めている。ドリーム層（今は行けないけれど、コロナ後に行きたい）になってもらう狙い。
- ・ VRを撮影し、オンラインツアーの準備を進めている。（大洲城、臥龍山荘など）
- ・ 少彦名神社、如法寺、臥龍山荘は、外国人向けの建築ツーリズムとして組み込んでいく。
- ・ 第一歩として欧米豪は良いアプローチだが、ドイツ・フランス・アメリカ・オーストラリアでマーケットが違う。南欧は夏休みが多いなど、特徴を認識する必要がある。

【課題】

- ・ 九州の人気が出てきている。九州とのつながりも作りたい。
- ・ 内子町との連携は行っているが、南予全体ではあまりできてない。欧米豪に対しては広域的にアピールすることが必要。

■八幡浜市（八幡浜市ふるさと観光公社）

【主な観光資源・コンテンツ】

番号	観光資源・コンテンツ	概要	選定理由
17	八幡神社	1300年の歴史ある場所での神社体験（清掃、絵馬づくり等）	日本人の慣習を体験。掃除と祈り 日本人の習慣との関係に迫る。欧米豪向けに神社体験は興味・関心を持ってもらえるのか検証したい。
18	歴史を巡る峠道	四国遍路や参勤交代の歴史を巡る峠道を散策	
19	段々畑を「E-BIKE」	段々畑が織りなす光景を存分に楽しむ「E-BIKE」によるサイクリング	
20	里山文化体験	山あいの集落（日土東地区）の暮らしに触れながら地元の食材を使った田舎料理づくりを体験	
21	八幡浜みなと	地域の素材を活かした産直・物販・飲食施設「アゴラマルシェ」、八幡浜漁港に水揚げされた新鮮な魚を直売する「どーや市場」、「みなと交流館」などで構成された、まちの新たなシンボル。	
22	日土小学校	八幡浜市職員であった松村正恒氏が、本校を含む学校や病院等の設計を手がける。本校中校舎・東校舎が2012年に戦後の木造建築としては初めて国の重要文化財に指定された。学校の長期休暇中には見学会も実施。	
23	八幡浜ちゃんぽん	長崎・神戸・横浜をはじめとした全国各地のみなとまちにみられるように、本場中国の食文化が海を渡って伝わり、地元の食文化との融合の中で生まれたと言われる。	
24	平家谷そうめん流し	溪流と原生林の美しさを持つ平家谷は、春には、桜やツツジ、アジサイの花が咲き、初夏には萌黄色の新緑が目まぶしく、秋には紅葉が美しく映え、冬には水仙と梅の花が咲きそろう。大自然の中でのそうめん流しは格別。	

モニターツアーに盛り込む素材・コンテンツ

【特徴・傾向】

- ・ 宿泊者全体（3,000～4,000人）のうち、5%が外国人。全体の4割が観光だが、九州へのつなぎとして宿泊している。半分は農業研修生。
- ・ E-BIKEは今後台湾向けにプロモーションしていく。
- ・ イスラムは特に宗教的な抵抗が強く、手水、賽銭にも抵抗を示す。

【課題】

- ・ 広域連携の中で、宿泊がなくてもまずは滞在してくれたら良い。

■西予市（西予市観光物産協会）

【主な観光資源・コンテンツ】

番号	観光資源・コンテンツ	概要	選定理由
25	西予ジオパーク	海抜0mから1,400mの標高差の中に、リアス式海岸・盆地・河成段丘・カルスト台地などの多様な地形が存在。国の重要文化的景観に選定された西予市・狩浜地区など、多様な自然環境に触れながら、海・里・山の多様な文化・食・暮らしを楽しむことができる。	標高差の中に、リアス式海岸・盆地・カルスト台地などの多様な地形が存在。多様な自然環境等への関心、興味に迫りたい。
26	卯之町散策	江戸時代中期から昭和初期の商家を残し、国の重要伝統的建造物群保存地区に選定。白壁、うだつ、格子などの伝統的な建築様式が残り、古き良き文化の香りと商業に賑わいを感じることができる。	伝統的な建築様式が残る町並み、国の重要伝統的建造物群保存地区にも選定。大正期建築の教会や明治期建築の開明学校校舎などの洋風建築も点在する独特の歴史文化への関心具合に迫りたい。
27	笠置峠古墳	4世紀初め頃に築造されたと考えられる西南四国最古の前方後円墳。宇和盆地一帯を治めた首長の墓。笠置峠古墳は「しゃもじ形」とも言うべき形をしている。	
28	田穂の堂の坂の棚田	「日本の棚田100選」、「にほんの里100選」に選ばれた、田穂の堂の坂の棚田。山間に広がる棚田が美しく、棚田に吹く風を受けながら美しい田穂の堂の坂の棚田を眺め続けていると、ゆるやかな時間が流れているのを感じることができる。	
29	わらマンモス	春には市花のれんげと。夏には稲が育った緑の田んぼと。秋には稲刈りをした田んぼと。冬にはわらぐろとライトアップ。四季折々のわらマンモスを見ることができる。毎年、4月29日のれんげまつりの時期にはたくさんの方で賑わい今では宇和町のシンボリック存在。	
30	ぞうきんがけレース	日本一長い木造校舎の109m廊下をぞうきんがけレースで、タイムトライアル。目指せ最速タイム。	
31	養蚕体験	「シルクとミルクの町」。西予市が合併する前の野村町のキャッチフレーズ江戸末期、技師を招き養蚕を推奨した。明治時代に入ると野村町でも養蚕が始まる。	
32	宿場町スティ	古くからの宿場町として栄えた時代の名士や遍路巡礼の宿に宿泊。受け継がれた歴史と伝統を体感。	多くの文人・政治家等が宿泊した老舗旅館で、歴史を体感。代々受け継がれてきた旅館の風情とおもてなしの心への関心具合を検証したい。

モニターツアーに盛り込む素材・コンテンツ

【特徴・傾向】

- ・ お遍路が多い。
- ・ 町並みを散策後、大洲に行く人が多い。滞在はあまりなく、通過点になっている。
- ・ 海～山と多様性がある。久万高原にも近い。
- ・ ジオパークや狩浜の段畑では、地元ガイドを活用して松山の学生の教育旅行を実施。

【課題】

- ・ 各コンテンツのコアな部分をブラッシュアップしていきたい。
- ・ 誘客手段と交通手段がツアー造成に係る課題。
- ・ 市民、観光関係事業者、行政が同じ視点を持って取り組む必要がある。

■宇和島市（宇和島市観光物産協会）

【観光資源・コンテンツ】

番号	観光資源・コンテンツ	概要	選定理由
33	宇和島藩・伊達文化	宇和島城や天赦園を巡りながら、宇和島藩・伊達文化や歴史に触れる。	幕末の歴史（小さな宇和島藩が幕末の政局に多大な影響を果たした背景）へ興味・関心具合を検証したい。
34	和霊神社	漁業を中心に広く産業の神として、中四国で崇められている和霊信仰。その総本山といえるのが、和霊神社。	
35	滑床溪谷	足摺宇和海国立公園の一角で、滑らかな一枚岩の千畳敷や、平らな岩の上をさらさらと滑るように水が流れる出合滑など、溪谷全体の岩盤が清流で洗い清められ、柔らかな滑らかさを持っている。四万十川水系の支流でもある。	
36	遊子水荷浦の段畑	「耕して天に至る」と形容される段々畑。眼前に広がる宇和海の美しさもあいまってまさに絶景。「日本農村百景」などに選ばれており、全国で3例目の「国の重要な文化的景観」に選定された。	宇和海クルージングとセットで、宇和島の自然が造り出す景色に対する、欧米豪視点での魅力度を検証したい。
37	郷土料理「鯛めし」	「宇和島鯛めし」は水軍が考案したとされる、いわゆる「漁師めし」。	100年の歴史。思い出と味を受け継ぐ「宇和島鯛めし」が欧米豪の心をつかめるのか検証したい。
38	宇和島の闘牛	闘牛の起源については、17世紀といわれる。迫力満点の闘いが繰り広げられる。	
39	木屋旅館	上品で洗練されたアートエンターテインメント空間というアプローチの旅館。心地の良い「ほったらかし感」の中で、滞在中飽きさせない工夫を凝らしたしつらえを随所に施している。	
40	真珠体験	リアス式海岸による深い入り江に、波静かにさざめく宇和海。日本有数の真珠の産地で、自分だけのオリジナル真珠の加工体験。	

モニターツアーに盛り込む素材・コンテンツ

【特徴・傾向】

- ・ 宇和島では、道後に戻る人と通り抜ける人が半々。通り抜ける人は高知に行く人が多い。
- ・ コロナ前は香港からが最も多く、きさいや広場の立ち寄り利用が多かった。(食事、休憩)
- ・ ヨーロッパからはバックパッカーが多く、富裕層は来ていない。車で周遊というのも稀。
- ・ 漁村はおもしろいコンテンツになり得る。小さな村がいっぱいあり、魅力的。
- ・ 広域でやることは必要。各市町だけでは限界があり、空回りしてしまう。
- ・ 欧米豪は地域の人との距離感やふれあいを評価している。

【課題】

- ・ 連休は思った以上に観光客が来ていたが、2次交通が課題。7割は車利用。
- ・ お金を使ってくれる人はどうすれば来るのか。間違いなく内子には行っている。
- ・ 海でできる体験や産業ツーリズムを1つずつ積み上げればと思う。
- ・ 外国人に対応できる宿泊施設は木屋旅館があるが、他は、ビジネスホテルと民宿しかない。また宇和島に来る目的は何か。体験や風景か。
- ・ 四国の西南地域である四万十や土佐清水方面との予土線のルート造りも必要。
- ・ マンパワー、金、情報発信力において、地域間で協力していくことが重要。

■モニターツアーについての意見交換

内子町：ツアーにテーマが必要か。観光動向はテーマを付けて方向を絞らない方が
良い。テーマに影響され、意見誘導をしてしまう可能性がある。例えばJR
四国が販売している既存の「お宝」ツアーに対するアンケートが好評なのは、
その「お宝」に参加したいと思った人に対してアンケートをとっているから。
欧米豪に対して評価を聞くのなら、方向性を付けず、でてきたものからテー
マ等を再構築していくのがモニタリングの意義ではないか。

宇和島市：インバウンド等に伊達家の話をしても伝わりにくい。歴史に興味がない
と面白くないと感じてしまうため、素材が何百年前の建物であるとか、石
積みの積み方の方が響く。

すべては見切れないだろうが、見せ方の検証も必要ではないか。

大洲市：歴史については、在住とインバウンドでは知識や興味の有無によって、魅力
と感じるかどうかは異なるので注意が必要。風景や食は個人の差はあまり
ない。

JR：10月10日を目途に、各市町に改めて照会し了解の元にモニターツアーの素
材を決定する。

モニターツアーは11月8日～10日に実施。

自分がいると何が魅力か分からないが、他から見ると見つかる場合もある
のではないかな。それをモニターツアーで検証したい。

■その他

- ターゲットのペルソナ化が必要。
- 今は南予を訪れる訪日外国人旅行者は、バックパッカーが多いが、ワーキングホリデーの訪問者が多く、経済効果も少ない。また、南予は富裕層を受け入れる宿泊施設がないので、中間層をターゲットとすべき。貸切バス単位で受け入れしようとするとうすぐオーバーツーリズムになってしまう。地域もそれを望んでいるわけではないので、アップミドルのFITを対象としてはどうか。
- 団体旅行は適さないなので、収入レベルでいう中レベルを目指していくべきではないか。
- バックパッカーは宣伝されていないところに行きたいので、当事業の方向性とは合わない。富裕層をターゲットとするのは非現実的だ。欧米豪はだいたい2週間単位で来日する。東京を拠点にして、3～4泊の国内アウトバウンドをする。地域が知られていないと来てもらえない。香川が瀬戸内国際芸術祭で宿泊客を確保出来ているのは、中間層を獲得できているということではないだろうか。南予でも3～4泊過ごせるコンテンツが必要。
- 中山道のようなイメージで、ウォークジャパンの10日50万のコースに入れることができれば理想的。
- オーストラリア人には自転車が人気。昔で言うゴルフ旅が、今では自転車旅になって

いる。

- 四国はレトロ、mystic などところが魅力。
- 何をしにここに泊まるのかというテーマ付けが必要。
- 体験コンテンツがたくさんなくても、日本らしさがあれば、時間を過ごせる。
- バックパッカーは観光地でないところに来る。観光地としてプロモーションすれば、その地は対象外になってしまう。ボリュームゾーンは中間層が現実的。インバウンドは平均的に2週間滞在するといわれ、東京を中心に2〜3回国内を旅行する。四国西南地域を含めて、国内旅行の対象として認識されないインバウンドは来ない。香川のように宿泊に結びつき中間層を引き込むのがベター。南予地域で言うと3〜4泊できるコンテンツを作り上げていく必要がある。本来の京都を知っているのに、素材に「小京都」を付けるのは逆効果ではないか。
- 中山道まちあるき10日間、512千円のコースは年間400人が参加し、年2億円が地方に落ちている。こういうコースに入ればいいのか。年収でいうと2000万円のバンカーが落とすところであろう。
- 1つ1つのブランドは大切にしないといけないが、総称したブランドがあった方がいいのではないか、広域に全体をつなげるブランドが必要ではないか。
- 四国では海・歴史・文化が残るようなブランディングが出来ればいい。
- 地域がどう見えているか、モニターツアーで確認したい。香川県では琴平・善通寺・丸亀で宿泊層を分けている（旅館・古民家・ビジネスホテル）。エリア内でも役割分担は必要。
- 何を目的に宿泊するかテーマの設定が重要ではないか。
- 外国人もありのままの環境を楽しんでいる。必要最低限の説明でよく、景色をじっくり見てふれあってという時間を過ごすことも大切だと思う。
- 富裕層ではないが、地元の人に質問し、みかんをもらって食べたという地域とのふれあいが楽しかったという話も聞く。

2-2 モニターツアーの実施

- ・ 令和2年9月25日に開催した掘り起こし・絞り込み検討会において選定した観光素材・コンテンツを欧米豪訪日外国人旅行者に訴求する課題抽出のため、ターゲット市場の外国人によりモニタリングを行った。

(1) モニター

① A氏（男性）

カナダ出身、香川県高松市在住。
独自の取材に基づく香川県の観光情報サイトを運営。

② B氏（男性）

アメリカ合衆国出身、香川県高松市在住。
自転車で地域資源を巡るツアーを数多く催行。

③ C氏（女性）

オーストラリア出身、高知県三原村在住。
ゲストハウス運営のほか、有機稲作農業、古着・着物の販売等を手がける。

※モニターツアーにおける感染防止対策

- ・ ツアー中はマスクを着用した。
- ・ バス乗車人数は定員の半数以下で行った。
- ・ バス乗車時に手指消毒を行った。
- ・ ソーシャルディスタンスを確保してツアーを行った。
- ・ 施設入館時に手指消毒を行った。

(2) 行程

1日目<11月8日(日)>

---JR ===バス ...徒歩

行 程	食 事
各地---- J R内子駅====石畳地区散策====内子の町並み散策====油屋（大洲市）・・・ 10:00集合 13:00（昼食）	朝× 昼○ 夜○
大洲市内観光（サイクリング等）・・・ NIPPONIA HOTEL大洲城下町（泊） 14:00（おおず赤煉瓦館、如法寺、 少彦名神社、臥龍山荘、大洲城） 18:00	

【内子町】

内子町の中心部から約13km、麓川の源流域にある石畳地区。「美しい日本のむら景観百選」にも選ばれた石畳の村並みの美しさを堪能できる。

また、一步進むごとに時がさかのぼる感覚のある内子の街並み（八日市護国重要伝統的建造物群保存地区）も散策した。



内子町石畳地区「美しい日本のむら景観百選」



江戸や明治の面影を残す町家や屋敷が建ち並ぶ

【大洲市】



2004年に復元された大洲城

肱川とその河畔に建つ大洲城を中心に栄えた城下町「大洲」。趣のある武家屋敷など、情緒ある町並みのヒミツに迫る。

また、2004年、四層四階の木造天守が威風堂々とした往年の姿で甦っている。誰が大洲城天守を築城したのか？なぜ伝統と気品を感じさせる正しい姿に復元できたのか？大洲城の謎に迫った。

2日目<11月9日(月)>

---JR ===バス ...徒歩

行 程	食 事
宿====八幡神社（体験：祝詞書写体験、絵馬等）====ギャラリー喫茶池田屋 8:00 9:00 ~ 12:00 13:00	朝○ 昼○
===狩浜の段畑===町なみ散策旧武蔵（昔の道具、井戸体験）・・・松屋旅館（泊） 15:00 17:00 18:30	夜○

【八幡浜市】



1300年の歴史ある神社で体験

（祝詞書写体験、絵馬づくり等）

西暦717年に創建され、「八幡浜」（やわたはま）の地名の由来になった神社「八幡神社」（はちまんじんじゃ）で、祝詞書写や絵馬づくりを体験。

【西予市】

2019年、国の重要文化的景観に選定された西予市明浜町・狩浜地区。高台からは段々畑とリアス海岸が織りなす絶景を堪能できる。

海と山の距離が近く、狭い限られた土地でありながら、様々な産業が発達してきた。宇和海の絶景と地質の関係の秘密に迫る。

また、白壁、半蔭（はじとみ）、格子、持ち送りなどの伝統的な建築様式が残る町並みには大正期建築の教会や明治期建築の開明学校校舎などの洋風建築も点在。和と洋の建築物が混在する町並みの歴史に迫る。



狩浜の段畑と漁村（国の重要文化的景観）



国の重要伝統的建造物群保存地区

3日目<11月10日(火)>

—JR ———バス ……徒歩

行 程	食事
宿====宇和島城・・・黒田のぼり店（染物見学）・・・ほづみ亭（昼食） 9:00 9:30 11:10 12:10	朝○ 昼○
==== 遊海～～（クルージング）～～遊海==== JR宇和島駅 13:40 15:00	夜×

【宇和島市】

城は戦うために築かれ、その容姿は防衛機能を兼ね備えた武骨なデザインが通例だが、宇和島城の天守入口は歓迎するかのよう。宇和島城の建築的な特徴に迫る。

また、宇和島の伝統工芸にも触れる。1904年創業以来、変わらない手描き手染めの製法で、鯉のぼりや武者絵のぼり、大漁旗などの製作風景を見学する。

モニターツアーの最後は宇和海クルージングで締めくくる。リアス海岸や多島美の景観を堪能していただくとともに、真珠や鯛の養殖場を間近から見学していただく。



宇和島城

築城の名手・藤堂高虎によって築かれたお城。現在、周囲は埋め立てられているが、以前は水路に囲まれ、海に面した水域だった。「十万石に過ぎた門」と言われ、太平洋戦争時代、空襲で焼失した追手門跡から登城し、宇和島の歴史を学ぶ。



宇和島郷土料理「鯛めし」

「宇和島鯛めし」は、水軍が考えたといわれる、いわゆる漁師めし。舟の上で刺身と茶碗酒で酒盛りをした後、その酒の残った茶碗にご飯をよそい、醤油を含ませた刺身をのせ、混ぜ合わせて食べたのが始まりとされる。

2-3 磨き上げ検討会の開催

(1) 磨き上げ検討会の開催

- ・ 本事業の趣旨に賛同した自治体及び観光協会、地域DMOから8名が参加した。
- ・ 事務局より事前にモニターツアーアンケート結果を送付し、情報共有を行った。
- ・ モニターツアーのアンケート結果より集約した20の「論点・課題」をもとに、意見交換を行った。

■日程

令和3年2月5日（金）13:00～15:00

■場所

WEB会議（Zoom）

■出席者

所属	職名
四国運輸局 観光部観光地域振興課	課長
〃	主査
〃	係員
（一社）内子町観光協会	事務局長
〃	係長
（一社）キタ・マネジメント 企画課	職員
〃 建築文化研究所	所長
（一社）八幡浜市ふるさと観光公社	職員
（一社）西予市観光物産協会	事務局次長
〃	職員
宇和島市観光物産協会	事務局次長

議事次第	
1 開 会 Call to order	
2 挨拶 Opening	
3 報 告 Report of the monitor tour	
4 意見交換 Exchange of opinions	
5 閉 会 Closing	
	四国運輸局 観光部観光地域振興課

(2) モニターによる 20 の提言

- ・ モニターツアーのアンケート結果より、20 の提言を得た。

中期
Mid-term

1. 多言語表記・案内の充実＜観光施設＞

Enhancement of other language notation and guidance <Tourist facilities>

◎モニターからの主な意見(各施設共通)

Main opinions from monitors(Common to all facilities)

- 案内板は多言語表記が必要 Information board requires multilingual notation
- 多言語での音声ガイドも必要 Multilingual audio guide is also required
- Webサイトの外国語対応が必要 Website needs foreign language support



観光案内図(西予市)
Tourist information map (Seiyo City)



多言語の標識(久留米市)
Multilingual sign (Kurume City)

◎磨き上げ検討会案 Polishing study proposal

- 多言語による案内表記、音声案内(QRとセット)
Multilingual guidance notation, voice guidance (set with QR)
- 外国語対応なWebサイトの改良
Improvement of website that supports foreign languages

短期
Short term

2. QRコードの整備＜観光施設＞

Maintenance of QR code <Tourist facilities>

◎モニターからの主な意見 Main opinions from monitors

- 案内板のQRコードを読み取ると、英語の解説があった(石畳)
When I read the QR code on the information board, there was an explanation in English (Ishidatami)
- 費用も時間もさほどかからないQRコードは、早急に整備すべき(各施設)
QR codes that do not cost much and do not take much time should be prepared immediately (various facilities)



QRコードによる観光案内(石畳地区)
Tourist information by QR code (Ishidatami area)



QRコードによる音声案内(伏見稲荷)
Voice guidance by QR code (Fushimi Inari)

◎磨き上げ検討会案 Polishing study proposal

- QRコードの整備 QR code maintenance

3. WiFi未整備エリアの解消＜観光施設＞

Elimination of undeveloped WiFi areas <Tourist facilities>

◎モニターからの主な意見(各エリア共通) Main opinions from monitors (Each area)

- WiFiスポットエリアが分かりづらい WiFi spot area is hard to understand
- QRコードの整備と一体でできれば効果大
Great effect if integrated with QR code maintenance



WiFi整備エリアの見える化 Visualization of WiFi maintenance area
(倉敷市)(Kurashiki)



(出所)観光庁
(Source) Japan Tourism Agency

◎磨き上げ検討会案 Polishing study proposal

- WiFiスポットエリアの見える化 Visualization of WiFi spot area
- 整備エリアの拡充 Expansion of maintenance area

4. 洋式トイレの整備＜観光施設＞

Maintenance of Western-style toilets <Tourist facilities>

◎モニターからの主な意見 Main opinions from monitors

- シニア向けには必要(各種施設) Especially necessary for seniors (Common to all facilities)
- 入場前にトイレを勧める看板があれば良い(臥龍山荘、大洲城)
It would be nice if there was a sign recommending a toilet before entering (Garyu Sanso, Ozu Castle)



大洲散策マップ
Ozu walking map

◎磨き上げ検討会案 Polishing study proposal

- 洋式トイレの整備 Maintenance of Western-style toilets
- 散策マップへの記載(洋式／和式トイレの場所)
Description on the walking map (Western / Japanese toilet location)

5. ナンバリング表記＜観光施設＞

Numbering notation <Tourist facilities>

◎モニターからの主な意見 Main opinions from monitors

○ナンバリング表記でセットコースを作ったら良い(石畳)

Make a set course with numbering notation (Ihidatami)

○町並み散策には、ナンバリング表記が有効(内子、大洲、西予)

Numbering notation is effective for walking around town (Uchiko, Ozu, Seiyō)

○シェアサイクルと一体で周遊観光の促進も可(大洲、西予)

It is also possible to promote excursion sightseeing together with the share cycle (Ozu, Seiyō)



観光パンフレット Tourist brochure
(大洲市 Ozu)



観光パンフレット Tourist brochure
(内子町石畳地区 Uchiko Ishidatami)

◎磨き上げ検討会案 Polishing study proposal

○Webやパンフレット等にナンバリング表記

Numbering notation on the Web, pamphlets, etc.

○モデルコース、距離、標準時間(60分、120分、半日等)を記載

Describe the model course, distance, standard time (60 minutes, 120 minutes, half a day, etc.)

6. ストーリー性のあるガイド／ガイドの育成＜観光施設＞

Fostering guides / guides with a story <Tourist facilities>

◎モニターからの主な意見 Main opinions from monitors

○大きさなどのデータの説明ではなく、歴史、文化、建築、人、背景等のストーリー性が重要(各エリア共通)

The story of history, culture, architecture, people, background, etc. is important, not the explanation of data such as size (Common to each area)

○同じ水準まで育成することは大変

It is difficult to raise to the same level

◎磨き上げ検討会案

Polishing study proposal



○ガイド説明は、データ説明よりもストーリー性が重要

Guide explanation is more important than data explanation

7. 外国語のメニュー、写真の表示＜食事施設＞

短期
Short term

Foreign language menu, photo display <Meal facilities>

◎モニターからの主な意見(各施設共通)

Main opinions from monitors (Common to all facilities)

○メニュー表の英語表記は必要。写真があればなお良い

English notation of the menu table is required. English notation of the menu table is required.

○英語の口コミサイトがあれば、参考になる

If there is an English word-of-mouth site, it will be helpful



油屋メニュー表 menu table
(多言語あり、写真付、ナンバリング付)
(Multilingual, with photo, with numbering)

◎磨き上げ検討会案 Polishing study proposal

○英語のメニュー表(写真付)の整備

Maintenance of English menu table (with photos)

○口コミサイトへの投稿依頼も有効

Posting request to word-of-mouth site is also valid

8. フレキシブルな対応(アレルギー、ベジタリアン等)＜食事施設＞

短期
Short term

Flexible support (allergies, vegetarians, etc.) <Meal facilities>

◎モニターからの主な意見(各施設共通)

Main opinions from monitors (Common to all facilities)

○アレルギーの表記が必要 Allergy notation required

○ベジタリアンやビーガン向けメニューの見える化が必要

Need to visualize menus for vegetarians and vegans

食品ピクトグラム付メニュー表
(出所)関西国際空港
Menu table with food pictogram
(Source) Kansai International Airport



◎磨き上げ検討会案 Polishing study proposal

○食品ピクトグラムを用いたメニュー表の整備

Maintenance of menu table using food pictograms

○ベジタリアンやビーガン向けのメニューの見える化

Visualization of menus for vegetarians and vegans

9. 料理人からの食材等の説明＜食事施設＞

短期
Short term

Explanation of ingredients from the chef <Meal facility>

◎モニターからの主な意見(各施設共通) Main opinions from monitors (Common to all facilities)

- 料理人に会ったり、調理場面を見学できれば良い
It would be nice if you could meet the chef and observe the cooking scene
- 提供される食べ物についての説明(英語)が欲しい
I want an explanation (in English) about the food offered



◎磨き上げ検討会案 Polishing study proposal

- 食材や調理方法等の説明を行う
Explain ingredients and cooking methods

10. 地酒のストーリー説明＜食事施設＞

短期
Short term

Story explanation of local sake <Meal facility>

◎モニターからの主な意見(各施設共通) Main opinions from monitors (Common to all facilities)

- 食事は素晴らしい文化体験、特に地域には魅力的な地酒がある
Dining is a great cultural experience, especially in the area with attractive local sake
- 地酒を取り巻くストーリー(製造方法、歴史等)を説明して欲しい
Please explain the story (manufacturing method, history, etc.) surrounding local sake.
- お土産の購入にも寄与する Also contributes to the purchase of souvenirs



(出所)三菱UFJリサーチ&コンサルティング

◎磨き上げ検討会案 Polishing study proposal

- 日本酒おすすめセットを提供する Providing a recommended set of sake
- 日本酒はわかりやすいストーリーで紹介する
Introducing sake with an easy-to-understand story

11. サービスの拡充＜宿泊施設＞

Expansion of services <Accommodation>

中期
Mid-term



◎磨き上げ検討会案 Polishing study proposal

○共有スペースの充実(交流機会の拡充)

Enhancement of shared space (expansion of exchange opportunities)

○朝食は、和・洋の選択制も有効

For breakfast, a selection system of Japanese and Western is also effective

12. スムーズなチェックイン対応＜宿泊施設＞

Smooth check-in support <Accommodation>



指さし会話シート

Pointing conversation sheet



翻訳に便利なポケトーク

Poketalk useful for translation

◎磨き上げ検討会案 Polishing study proposal

○指さし会話シートの活用 Utilization of pointing conversation sheet

○通訳機(ポケトーク)の活用 Utilization of interpreter (Poketalk)

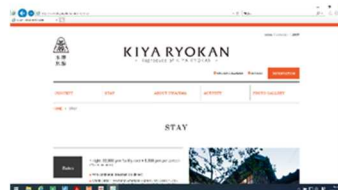
13. 新たなマーケット（欧米豪）での認知向上＜宿泊施設＞

Raising awareness in new markets (Europe, America and Australia) <Accommodation>

中期
Mid-term

◎モニターからの主な意見 Main opinions from monitors

- 日本語のWebサイトしかない(石畳の宿等) There is only a Japanese website
- SNSを活用できないか Can you utilize SNS?
- 他のサイト(観光協会、自治体等)との連携も有効ではないか
Isn't cooperation with other sites (tourist associations, local governments, etc.) effective?



◎磨き上げ検討会案 Polishing study proposal

- Webサイトの開設(多言語) Website establishment (multilingual)
- SNSやブログでの効果的な情報発信
Effective information dissemination on SNS and blogs
- 他のサイト(観光協会、自治体等)との連携
Cooperation with other sites (tourist associations, local governments, etc.)

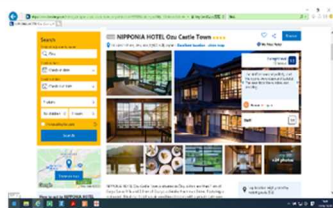
14. 多言語対応のWeb予約システム＜宿泊施設＞

Multilingual Web Reservation System <Accommodation>

短期
Short term

◎モニターからの主な意見 Main opinions from monitors

- 日本語のサイト(じゃらん等)でしか予約ができない宿が多い(石畳の宿等)
Many inns can only be booked on Japanese sites (Jalan, etc.)
- そもそも外国人をターゲットにしていないと感じる(石畳の宿等)
I feel that I am not targeting foreigners in the first place



NIPPONIA大洲城下町の予約サイト
(Booking.comより)

NIPPONIA Osu Castle Town Reservation Site



◎磨き上げ検討会案 Polishing study proposal

- Webサイトの開設(多言語) Website establishment (multilingual)
- 多言語での宿泊予約体制の確立
Establishing a multilingual accommodation reservation system

15. オリジナリティのある内容＜体験型＞

中期
Mid-term

Original content <Experience type>

◎モニターからの主な意見 Main opinions from monitors

○具体的な説明をしてほしい(神社体験)

I want you to give a concrete explanation (Shrine experience)

○体験＋お土産のセット販売して欲しい(黒田のぼり店)

I want you to sell a set of experience + souvenirs(Kuroda Hatanobori Store)



◎磨き上げ検討会案 Polishing study proposal

○オーナーと積極的にコミュニケーションができる場の提供

Providing a place where you can actively communicate with the owner

○体験＋α(土産購入)が欲しい

I want experience + α (purchase souvenirs)

16. 独自の文化・慣習の説明＜体験型＞

短期
Short term

Explanation of unique culture and customs <Experience type>

◎モニターからの主な意見(各体験共通) Main opinions from monitors (Common to all facilities)

○歴史、伝統、文化を正しく伝えて欲しい

I want you to convey history, tradition, and culture correctly

○地元の小さな習慣も話題提供して欲しい

I want you to talk about small local customs



◎磨き上げ検討会案 Polishing study proposal

○歴史、伝統、文化の側面からストーリー性のある説明を行う

Give a story-like explanation from the aspects of history, tradition, and culture

○地元ガイドの育成プログラムの充実化

Enhancement of training programs for local guides

17. 認知力向上の取り組み＜体験型＞

中期
Mid-term

Efforts to improve cognitive ability <Experience type>

◎モニターからの主な意見(各体験共通)

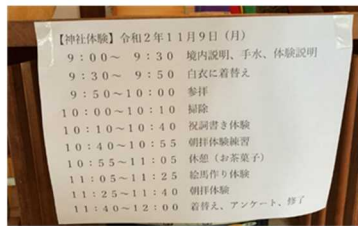
Main opinions from monitors (Common to all facilities)

○WebサイトやSNS等による情報発信が重要

Information dissemination via websites and SNS is important

○情報発信は、多言語・ピクトグラム・写真を活用が大切

It is important to utilize multilingual, pictograms, and photographs to disseminate information



◎磨き上げ検討会案 Polishing study proposal

○Webサイトでの情報発信(多言語、ピクトグラム、写真)

Information dissemination on website (multilingual, pictogram, photo)

18. MaaS型のチケットの整備＜周遊性＞

短期
Short term

Maintenance of MaaS type tickets <tourability>

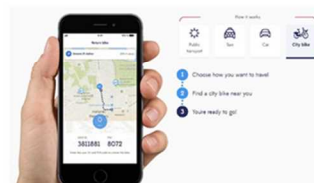
◎モニターからの主な意見 Main opinions from monitors

○外国人観光客の移動サービスをパッケージとして提供するべき

Foreign tourists' mobility services should be provided as a package

○スマートフォンのアプリで、交通手段やルートを検索・利用・決済
できれば便利

Search, use, and settle transportation and routes with a smartphone app. Convenient if possible



◎磨き上げ検討会案 Polishing study proposal

○南予MaaSフリーパスの周知と活用

Dissemination and utilization of Nanyo MaaS Free Pass

19. モデルコース案の提示＜周遊性＞

中期
Mid-term

Presentation of model course plan <tourability>

◎モニターからの主な意見(各エリア) Main opinions from monitors (Each area)

○観光パンフレットにモデルコースが記載されると、スポット型から周遊観光型に誘発される可能性がある

If a model course is described in a tourist pamphlet, it may be induced from a spot type to a tour type.

○複数のコースと目安の時間がわかると便利

It is convenient to know multiple courses and estimated time

○レンタサイクルがあれば、町並み周遊観光しやすい

If you have a rental cycle, it is easy to go sightseeing around the city



◎磨き上げ検討会案 Polishing study proposal

○複数のモデルコースを観光パンフレットに記載

Multiple model courses listed in the tourist pamphlet

○レンタサイクルの導入 Introduction of bicycle rental

20. 認知力向上の取り組み＜周遊性＞

短期
Short term

Efforts to improve cognitive ability <Circularness>

◎モニターからの主な意見(各エリア) Main opinions from monitors (Each area)

○シナジー効果が発揮できると効果的である

It is effective if synergistic effects can be exhibited.

◎磨き上げ検討会案 Polishing study proposal

○輸送機関や宿泊施設等とも連携し、周遊モデルプランを提示

Present a tour model plan in cooperation with transportation facilities and accommodation facilities

(3) 意見交換

- ・ 事務局より提示する5つのテーマに沿って、モニター3名に意見を求めた。その後、関係自治体より意見および質疑応答を行った。

■テーマ①「食事に関して興味深いものとは」

【モニター3名の意見】

A氏

- ・ 食事は色々な種類があると良い。今回提供された食事はどれも非常にユニークで素晴らしかったが、全ての行程で、こういう素晴らしい食事ばかりではなく、夕飯は少ししっかり出して、シンプルな和食や普通の食事を混ぜてとか、緩急を入れても良い。
- ・ 宗教上の問題や好み等もあるので、「グルメツアー」や「お酒ツアー」のように、提供する時にある程度のカテゴライズをしておくのも一つの手段だと思う。
- ・ ゲストに対するおもてなし、姿勢が非常に重要であり、必ずしも全てに通訳、翻訳が必要というわけではない。しかし、翻訳したものが手に取れるところにあったり、かいつまんで通訳されていたりする方が良い。
- ・ 季節性の料理、郷土料理などを提供すると同時に、その説明もできるとなお良い。寿司、和牛などは日本料理というイメージが確立されているが、それ以外の郷土料理等はまだまだ認知されていないので、紹介していくのは良いアイデア。

B氏

- ・ 高級レストランなど特別な場合は食事の説明が必要だと思うが、普通の食事では、説明は不要。メニュー表の下に英語訳や中国語訳を加えたら、お客さんが指さして注文できるし、何が入っているか簡単な説明を入れたら非常にわかりやすいと思う。
- ・ 全てに英語訳を付ける必要は無いが、たとえば食事のメニュー等簡単なものでも解説されれば、コミュニケーションになって良い。
- ・ お好み焼きのようなB級の料理も興味深く、説明も欲しがると思う。

C氏

- ・ 日本は、シーズンにより独特の食べ物があるというところが非常に特別だと思う。それぞれの地方によって、それぞれ特別な食事があるのは何故か、季節によるものか、それとも歴史や習慣によるものか、興味深い。例えばぬか

のような、環境に配慮した食べ物も興味深い。

- ・ QRコードなどで翻訳できるのであれば、それも良い。一番大事なのはおもてなしの心。
- ・ 日本では食べ物と文化の関連性が非常に強い。イタドリや干し柿など、非常に独特で面白い。

【地元自治体のコメント】

キタ・マネジメント（大洲市）

- ・ ニッポニアのフィロソフィーは、伝統的というよりも近代的なニュアンスを付加するということ。地元の材料を厳選して、ちょっと不思議で近代的な形の料理を作ると言うアプローチを取っている。
- ・ ホテルのスタッフが食事を出すときの説明では、出来る限り易しい日本語や英語で、目の前で出している料理の魅力を伝えられるようにしたい。

西予市観光物産協会 事務局次長

- ・ 各事業者さんはご満足いただけるものだったのかどうかという気持ち。地産地消、地元の商品を使い、昔ながらの食事の提供を今後もしていきたいというのが事業者の思い。

宇和島市観光物産協会 事務局次長

- ・ ご指摘があったように、メニュー表とかが日本語のみであることは今後の改善点。食べ方など、日本人でもわかりづらい部分もあると思うので、食べ方のレクチャーを書いたものがあったもいい。
- ・ オーナーさんが英語で、身振り手振りで対応をしていたが、その方がコミュニケーションが取れるし、レストランの特徴が出る。

木屋旅館

- ・ 身振り手振りは楽しく、心を感じることができて良い。しかしメニューの翻訳、説明は必要になると思う。一つのレストランだけではなく、ミーティングをしていきながら皆で一緒に作った方が良いと思う。
- ・ 私が個人的に旅行するときには、英語の看板がある店よりも、もっと地元の人が行くような店を選ぶ。一方で年配の方は英語メニューがある店を選ぶので、ターゲットにより翻訳の必要性は変わる。外から見えるところに英語を掲げるのではなく、リクエストに応じて必要な人にもみ英語メニューを出す、などの対応のほうがいいのでは。

■テーマ②「お酒の可能性について」

【モニター3名の意見】

A氏

- ・ 酒蔵ツアーは非常にポピュラーなコンテンツの一つ。なるべく広域に文化的なこと、アクティビティ、食事等コンテンツ形成を固めて、欧米のワイナリーツアーのようなイメージでプロモーションしてみてもいい。
- ・ 現在国税庁の事業で酒蔵ツーリズムに取り組んでいるが、利き酒のようなコンテンツだけではなく、その地域の食事をフレンチやイタリアンにする「フードペアリング」も人気が高い。

B氏

- ・ お酒は大きなビジネスチャンス。今までは地酒などの説明が少なすぎた。絶対にお客さんが集まると思う。

C氏

- ・ いろいろな銘柄のお酒を少しずつ飲み比べるツアーもあって良いのでは。
- ・ 海外では個人でお酒を作ることはいまだ少ないが、日本では梅酒作りなども可能。ワークショップ的なツアーも魅力的。

【地元自治体のコメント】

内子町観光協会 事務局長

- ・ 日本酒は、むしろ日本人にとって身近なものでなくなってきている。逆に外国の方から日本酒の良さを教えて頂いているような状況。
- ・ 日本酒の日本での飲酒量が減っていることによって、どんどん蔵元が潰れていっているのが大きな問題。蔵によって考え方も違い、ツアーの受け入れに對してもまちまち。
- ・ 何らかのアピールをしていかないといけないということは感じている。

八幡浜市ふるさと観光公社

- ・ 梅美人酒造にて1時間程度の短いガイドツアーは作っている。ガイドがいれば受け入れるという形をとっている。

■テーマ③「ストーリー性のあるガイドの重要性に関して」

【モニター3名の意見】

A氏

- ・ 今回のツアーのガイドは、その地域のイベントやお祭り、神話等の情報が組み込まれていて非常に面白かった。
- ・ ガイドがいないと、その地域に対する興味が少し落ちてしまうし、理解度が下がってしまうのは事実。
- ・ どうしてもガイドが見つからない場合は、データを翻訳したものをQRコードなどで反映していくという方法もあると思うが、旅行者と人を橋渡しするというガイドの役割は非常に重要だと思う。

B氏

- ・ 高さや長さのデータよりもストーリー、例えば桃太郎の伝説など、地域の物語のほうがお客さんの記憶に残る。
- ・ 世界中の旅行者は大きく二つに分かれる。一つは、ガイドは絶対に必要という層。もう一つは、QRコードやガイドブック、オンラインの情報などでセルフガイドをしていくという層。
- ・ コロナ後はグループで固まりたくないお客さんも増えると思うので、そういう方にセルフガイドの需要がある。

C氏

- ・ 過去経験したガイドでは、「自分が子どもの頃はここでこうした」など自分の体験の話を聞きながら歩くというのがすごく楽しかった。
- ・ 必ずしもガイドが必要だとは思わない。ガイドがいなかった場合は、地図などの正確さが必要。

【地元自治体のコメント】

キタ・マネジメント（大洲市）

- ・ 顧客と地元コミュニティを橋渡しするというのは、ガイドの大事な機能だと思う。わかりやすいだけではなく、感情的な話をすれば、効果的だと思う。

木屋旅館

- ・ ガイド人材がいらないのは事実だが、決して人がいないわけではない。何を教えるかどうかも、その人の好きなこと、専門のことを案内すればいい。
- ・ ガイドの育て方は重要。内容暗記して案内させるのは良くない。

■テーマ④「体験で興味をそそられたものは？それはなぜか？」

【モニター3名の意見】

A氏

- ・コンテンツ形成していくには、その地域の経済活動を支えるコンテンツ選びが重要。長期的な視点に立った体験型コンテンツ形成があると良いと思う。

B氏

- ・今回のモニターツアーはお世辞抜きで本当に良かった。この経験がお客さんと繋がったら良いと思う。

C氏

- ・地域の方々と何かしらのつながりができたことが嬉しかった。地域の活性化に繋がっていったら良いと思う。

【地元自治体のコメント】

八幡浜市ふるさと観光公社

- ・八幡神社では従来雅楽体験を提供しているが、もっと普段からしている体験をということで、掃除等を組み入れた内容にした。アンケート結果を見ると、見えるものすべてに興味湧くということだったが、時間も限られるし、進行上QRコードで調べるというのも難しいので、ガイドが引き出しを持っておく必要がある。

西予市観光物産協会 事務局次長

- ・西予市は米どころということもあり、わらじ作り体験を提供させて頂いた。
- ・ゲストに合わせたガイド、おもてなしを各事業者にお伝えしていくとともに、新しい観光コンテンツを作ることも考えていきたい。

宇和島市観光物産協会 事務局次長

- ・持続可能性、長期的な視点で経済的な観点に立って考えていかないといけない一方で、オペレーションの問題もある。どういう商品をどう整理して商品棚に置いていくか、どうオペレーションして販売していくかというのが大きな課題。

■テーマ⑤「旅行先で話してみたい人は？何を話したいか？」

【モニター3名の意見】

A氏

- ・ ターゲットが誰で、どのような形でどのような場所でどういうコンテンツを提供していくかというマーケティングを今一度考えていくことは重要。
- ・ その地域の力を使って長期的に経済を繁栄させていくという視点で、コンテンツ形成していく必要がある。

B氏

- ・ 四国は、訪日2～3回目の人に来るエリアであることを考えた方がいい。どうやって四国の魅力を外国人に説明するかということが重要。

C氏

- ・ まずはリサーチから。どういう人がどういう体験をしたがっているかということ突き詰めて、その人に合ったツアーをデザインしていくことからだ。
- ・ 私のゲストハウスでは、文化や食事、農業などを体験したがつている人が多い。

3. 事業のまとめ

3-1 本事業の成果

- ・ 本事業では、欧米豪からの訪日旅行者をターゲットと捉え、南予5地域の観光資源をモニタリングした。既にパッケージ化しているコンテンツに限らず、今後のパッケージ化を計画している素材も含めて検証した。
- ・ 上記の成果として、下記20の課題が抽出された。

■今後の課題

1 ストーリー性のある説明

- ・ 年号や高さ、長さなどのデータよりも、地域固有の伝説、神話などの説明のほうが残る。
- ・ 全員が同じガイドをできるようになる必要はなく、ガイド自身の興味に沿ってオリジナリティのある説明が出来る方が良い。
- ・ 内容を丸暗記して案内するガイドは良くない。
- ・ 一日のガイドにストーリー性、関連性があるとより魅力が高まる。

2 地域固有の文化・慣習・産業の紹介

- ・ 地域固有の祭り、食事、伝説、神話などの紹介が良かった。
- ・ 地元の小さな習慣も話題提供して欲しい。
- ・ ものづくりや農業に関する情報を教えて欲しい。

3 日本のマナーの説明

- ・ 茶室や神社における作法、禁止事項。
- ・ 宴会の流れ（乾杯、三本／一本締め、返杯文化など）

4 ガイドの新たな役割：旅行者と現地の橋渡し

- ・ ガイドは説明するだけでなく、旅行者と現地の人の間に入り、コミュニケーションの橋渡しをするのが重要。
- ・ 四国は訪日2～3回目の人が来るエリアだという認識を前提に、どのように魅力を伝えるかが重要。

5 ガイドの宣伝

- ・ 旅行者がガイドを雇う価値を認識しやすいように、ガイドの自己紹介動画や、ガイドと体験できるコンテンツリストが公開されていると良い。

6 セルフガイドが可能な情報整備

- ・ ガイドの手配を必要とせず、QRコードの情報やガイドブック、地図、Webサイトの情報を元に自力で旅行する層もある。
- ・ 自由に情報を得られるように、Wi-Fiの整備が必要。
- ・ モデルコースを提示し、所要時間の目安が分かると良い。
- ・ セルフガイド層の満足を得るには、正確な情報発信が必要。

7 交流機会のアレンジ

- ・ 宿泊場所等に共有スペースを設けて、交流が出来ると良い。
- ・ ガイド同伴で夜の居酒屋、バーに行き、地元の人々と交流する機会が持てると良い。

8 接客・サービス

- ・ ホテルのチェックイン等、外国語対応も含めてスムーズに行える体制が必要。
- ・ 必ずしも外国語に堪能である必要はなく、身振り手振りで伝えようとする姿勢が「おもてなし」につながる。

9 提供する食事について

- ・ 朝食は和食よりも、食べ慣れた洋食の方が良い。
- ・ B級グルメの方が喜ばれる場合がある。
- ・ 糠のような、環境に配慮した食べ物も興味深い。

10 食事の解説

- ・ 季節に合わせた料理、食べ物と文化の強い関連は日本ならではの。
- ・ 料理がある理由は季節なのか、歴史なのか、習慣なのか等の解説が欲しい。
- ・ 料理人に会ったり、調理場面の見学ができたりすると良い。

11 お酒のコンテンツ化

- ・ 文化的な内容、アクティビティ、食事等と合わせて酒蔵ツアーを造成してはどうか。

- ・ 地域固有の食事をフレンチやイタリアンにアレンジする「フードペアリング」も人気が高い。
- ・ 海外では個人でお酒を造ることが少ないため、梅酒造りワークショップなどの体験コンテンツも魅力的。

12 夜型プログラムの整備

- ・ バー、日本酒体験、お祭り、ライブパフォーマンス、夜のネイチャーウォークなどがあると良い。

13 体験コンテンツの整備

- ・ 長期的視点に立ち、地域の経済活動を支えるようなコンテンツ選択が必要。
- ・ 体験にあたっても、具体的な説明が欲しい。
- ・ ものづくり体験後、その成果物をお土産として持ち帰ることができると良い。
- ・ 体験コンテンツは半日／終日等のオプションが必要。

14 ショッピング機会の拡充

- ・ 体験＋お土産のセット販売があると良い。
- ・ 伝統的な産業を紹介する時や、歴史的な建造物に入る時には、関連するお土産品があると良い。

15 ターゲットであるマーケットへの情報発信

- ・ 日本語のWebサイトしか無い場所があった。
- ・ 他サイト（観光協会、自治体等）との連携
- ・ SNSやブログによる情報発信
- ・ Web予約システムが日本語以外に対応していない

16 多言語・非言語表記の整備

- ・ 案内板やメニュー、Webサイトの多言語表記が必要。
- ・ 町並み散策等にはナンバリング表示が有効。
- ・ 言語だけではなく、写真もあるとより分かりやすい。

17 ルールに見える化

- ・ 「禁煙」「ペット禁止」「ゴミはゴミ箱に捨ててください」などの表示が必要。
- ・ 大浴場を男女で時間を分けて使う場合には、入浴時間が違うことを明記した掲示板を設置するべき。

18 インバウンドに対応したハード整備（W i ー F i 、洋式トイレ等）

- ・ W i ー F i スポットエリアを分かりやすく案内して欲しい。
- ・ 洋式トイレは、和式トイレに不慣れな欧米人やシニアに必要。
- ・ 観光施設（城など）に入る前にトイレを勧める看板があると良い。
- ・ キャッシュレス決済に対応していると良い。

19 ラストワンマイルの交通手段整備

- ・ レンタサイクルがあれば、町並み周遊観光しやすい。

20 移動サービスのパッケージ化

- ・ M a a s 型チケットの整備等
- ・ アプリで交通手段やルートの検索、決済（キャッシュレス）ができるとう良い。

3-2 今後の取り組み

今回ターゲットとしたのは、欧米豪訪日旅行者の中でも消費単価が平均的な中間層であった。アジア圏の訪日客と比べて滞在日数が多いことが特徴で、2週間単位で来日し、東京等の都市部を拠点として3～4泊単位で国内各地へ移動する。観光先に愛媛県南予地域の5市町が選ばれるためには、3～4泊の滞在を楽しむことのできるコンテンツを充実させることと、その魅力をターゲットに伝えることが必要となる。内子町、大洲市、八幡浜市、西予市、宇和島市の5市町は、それぞれが特色を持ち、周遊型観光のニーズに応えることができる。

今回の調査により、その地域固有の伝統や文化に関するストーリーが興味を引くということが分かった。それをコンテンツ化するための要素として、地域に根ざす「人」、工芸品等の「物」、地域固有の「自然」、お酒も含めた「食」の4つが挙げられる。この4要素を活用し、以下2点に取り組むことが望ましい。

1点目は、旅行者が周遊行程を組みやすいパッケージにすることである。旅行者個々の趣向に合わせてコンテンツ内容を選択する余地があるとより望ましい。また、移動手段や設備に関する情報は多言語で示し、旅行者の心理的障壁を取り除くことで、周遊へのハードルを取り払うことができる。

2点目は、各コンテンツを用いた情報発信である。5市町それぞれの特徴を際立たせられるよう、上記4要素を念頭にPRしていく必要がある。また、旅行前に必要な情報はWEB上で、旅行中に必要な情報は掲示やパンフレットのほか、必要に応じてQRコード等も活用して情報を掲載することが必要である。

上記2点により、南予地域周遊を動機付けするとともに、今後も5市町が相互に連携を取り、南予全体を一つのエリアと捉えたコンテンツ開発を行い、双方向に送客できる体制を継続することが有効である。